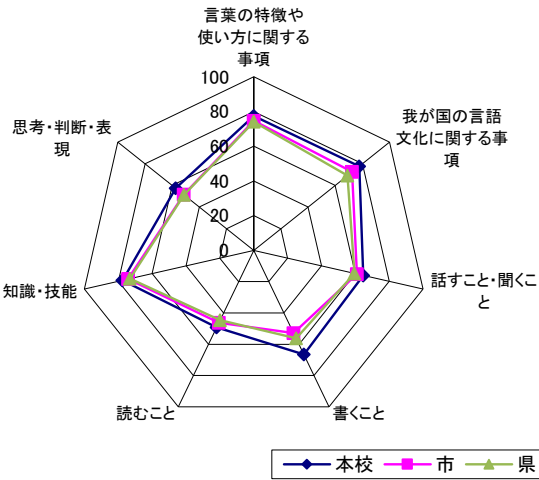


宇都宮市立豊郷中学校 第2学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使い方に関する事項	77.4	74.7	74.1
	我が国の言語文化に関する事項	77.7	72.5	69.1
	話すこと・聞くこと	64.7	60.9	59.5
	書くこと	66.5	52.8	56.2
	読むこと	49.2	46.2	44.5
観点	知識・技能	77.5	74.2	73.1
	思考・判断・表現	57.4	51.5	51.2



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	○平均正答率が77.4%で県平均より3.3ポイント上回っていた。 ○「幼い」を漢字で正しく書く問題では、県平均よりも7.5ポイント上回ってる。 ●文節の関係について答える問題の平均正答率は6.7%上回っているが、無解答率が県平均よりも0.8%下回っていた。	・既習した漢字の読み書きは、授業で小テストを取り入れて、継続的に取り組んでいく。 ・文法事項の理解や確認を、授業中に機会をとらえながら繰り返し取り組んでいく。
我が国の言語文化に関する事項	○平均正答率が77.7%で県平均より8.6ポイント上回っていた。 ○歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題では、無解答率が0.0%と県平均より1.7ポイント上回っていた。 ●漢字の行書の基礎的な書き方を答える問題の無回答率が県平均よりも0.5%上回っていた。	・歴史的仮名遣いについては引き続き反復練習をして定着を図っていく。 ・書写の授業を活用して書体の違いや点画の違いについて学べるようにする。
話すこと・聞くこと	○平均正答率は64.7%で県平均よりも5.2ポイント上回った。 ○自分の考えや根拠が明確になるように、話の構成を考える問題では、県平均よりも12ポイント上回った。 ●話題の展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめる問題では、無回答率が県平均よりも0.3ポイント上回っていた。	・自分の考えを述べることや、相手との考えを比較、検討して自分の考えに結びつける授業展開が必要である。 ・授業の中で話し手の工夫や意図を理解しようとしながら聞き取る活動を取り入れる。 ・学習活動に話し合い活動や意見発表の場を取り入れ、相手に分かりやすく伝える工夫について考える機会を増やしていく。
書くこと	○平均正答率は69.8%で県平均よりも6.9ポイント上回った。 ○自分の考えとその理由を書く問題では、平均正答率が65.5%で県平均よりも8.8ポイント上回った。 ●自分の考えは書いているが、理由を書いていないものが4.1%あり、県平均よりも1.7ポイント下回っていたがあまり差はない。	・自分の考えを理由を明確にして書く習慣を身に付けさせる。 ・図表を見て特徴的なものを読み取る力も必要である。
読むこと	○平均正答率は53.0%で県平均よりも3.1ポイント上回った。 ●登場人物の考えを説明した文の空欄に当てはまる言葉を書く問題の正答率は54.8%で0.9ポイント下回った。また、無解答率は31.0%で県平均よりも4.4ポイント上回った。	・場面の展開や登場人物の心情の変化について、描写をもとに読み取る指導が必要である。 ・物語文を読解する際には、描写と心情をつなげて指導し、どのように読み取っていけば良いかを理解させたい。